

第 1 分科会 テーマ：河川改修等における工夫事例

No.	題名	地　方 ブロック	水系名 河川名	直轄／補助 (級別)	河川概要				発表者	所属部署		事業の概要	主な関係者	事業を進めるにあたっての課題、問題点、悩んでいる点
					河川の流域面積	河川分類	整備計画流量※1	セグメント※1		機　関	部・事務所			
1	信濃川下流における縦断方向に長大な地区の河道掘削形状の検討について	北陸	信濃川水系 信濃川	直轄(1級)	11,900km ²	大河川	2,900m ³ /s (W=1/90)	2・2	南　大地	北陸地方整備局	信濃川下流河川事務所	信濃川下流では、流下能力向上と合わせて自然豊かな湿地環境の創出を図ることを目的とした掘削基盤高を設定し、過年度より河道掘削を実施している。 令和元年より河道掘削に着手し、現在も継続中の戸石地区において、土砂堆積及びヤナギの侵入が確認された。当該地区は縦断方向に約2.5kmと長大であり、施工期間が複数年に及ぶことから、その間の土砂の再堆積等を抑制し、多様な生息・生育場を創出する掘削形状を維持するための手法を検討する。	(アドバイザー) 新潟大学 紙谷名誉教授 (調査関係者) 株式会社東京建設コンサルタント北陸支店 (工事関係者) 小柳建設株式会社	—
2	雨竜川の多自然川づくりについて～多様な場の保全・創出に向けて～	北海道	石狩川水系 雨竜川	補助(1級)	1,722km ²	中小河川	600～1,000m ³ / s (W=1/42)	1	大高　広勢	北海道	上川総合振興局 旭川建設管理部 事業室事業課	・イトウが棲む雨竜川は手つかずの自然が残っている。 ・河積を広げるための掘削において、現況河川の平常時の環境を崩さず、湿地環境の創出を試みる河川断面を設定して、イトウなどの生物を支える多様な場となる川づくりを順応的管理により行う。	(調査設計関係者) 株式会社　ドーコン 株式会社　北海道技術コンサルタント 株式会社　和光技研 (地域の関係団体) 国土交通省　北海道開発局　札幌開発建設部 幌加内町役場	—
3	忠別川における多自然川づくりの取り組み及び効果の検証について	北海道	石狩川水系 忠別川	直轄(1級)	1,063km ²	大河川	350m ³ /s (W=1/150)	1	吉岡　大輔	北海道開発局	旭川河川事務所	石狩川の支川忠別川では、二極化や樹林化の影響等により、河床低下や河岸侵食が発生し、サケの産卵環境も減少するなど治水・環境面での課題が顕在化したことから、令和3年度から対策工として陸域を中心とした河道整正工事が開始された。本発表は、対策工検討の概要と、施工済み区間におけるモニタリング調査結果について報告するものである。	(調査・計画業務関係者) 株式会社エコテック	忠別川には複数の自然保護団体（忠別川の自然に親しむ会、あさひかわサケの会、日本釣振興会北海道地区支部など）が関わっており、自然環境の保全にはこれら団体の意見に耳を傾けた上で事業を進めている。
4	樹木管理を通じた再繁茂対策について	中国	小瀬川水系 小瀬川	直轄(1級)	340km ²	大河川	800m ³ /s	2・1	川本優汰	中国地方整備局	太田川河川事務所	・小瀬川では「河道の二極化」が進んでおり、樹林化に伴う現況流下能力の低下が懸念されている。 ・対策箇所は、河道内樹木の樹林化進行に伴い水位上昇量が大きい地点を選定し、「樹木伐採及び緩勾配形状での河床掘削」を実施した。 ・本資料では、現時点でのモニタリング結果に基づく対策効果について中間報告する。	(工事関係者) 株式会社三洋技建 (調査設計関係者) 株式会社建設技術研究所	—
5	長尾箇所における河床安定化対策（河床低下抑制）について	四国	土器川水系 土器川	直轄(1級)	127km ²	大河川	1,250m ³ /s (W=1/30)	1	鷯島　春吉	四国地方整備局	香川河川国道事務所	・既設飛び石を用いた置石の河床安定化対策	(対策検討関係者) 対策会議メンバー （香川大学 長谷川特任教授、香川大学 石塚教授、 香川高専 高橋准教授、国総研 瀬崎河川研究室長） (工事関係者) 株式会社岩崎建設 (調査設計関係者) いであ株式会社 四国建設コンサルタント株式会社	—
6	菊池川千畳河原における景観を生かした護岸施工	九州	菊池川水系 菊池川	補助(1級)	996 km ²	大河川	—	M	柴尾　映里奈	熊本県	県北広域本部	・施工箇所は平たい岩が連なる特徴的な地形の箇所であり、観光地である。 ・散歩や遊泳などの利用状況を踏まえ、景観と安全性を意識して設計施工を行なった。 ・事業期間と予算の制約から、計画検討業務を行わなかったが、地元や業者と都度協議しながら細やかな工夫を取り入れた。	(測量設計会社) 株式会社九州技研コンサルタント (地域の関係団体) 滝・黒仁田地区	・施工業者ごとの仕上がりの差異を極力小さくするために発注者ができることはあるか（事業は完了済のため、今後の参考まで）
7	旧吉野川向喜来箇所における干潟再生について	四国	吉野川水系 旧吉野川	直轄(1級)	225km ²	大河川	700m ³ /s (W=1/20)	3	丸橋　亮太	四国地方整備局	徳島河川国道事務所	旧吉野川右岸2k4+30～2k6付近において、堤防耐震工事に伴い、既存の干潟への影響が懸念されていた箇所の再生を実施した。工事前に確認された重要種の生息環境（砂質や泥質の干潟、ヨシ原）を再生するのを目的に河川・溪流環境アドバイザーのご助言を踏まえ、築堤及びヨシの移植を昨年度完成させた。今年度は再生状況について調査した内容の状況報告を行う。	(河川溪流環境アドバイザー) 阿南工業高等専門学校 大田直友准教授 (調査関係者) 株式会社建設環境研究所 (設計関係者) 株式会社エイト日本技術開発 (工事関係者) 株式会社姫野組	重要種の回復までにどれくらいの期間を要するのか他事例でありましたらご教示ください。